

今日は、ちょっと怖い話から始めます。それは、数年後に小さな天体が地球にぶつかるかもしれないというものであります。

こういう情報が流れたのは、今年の初め頃でありました。もしぶつかる、かなりの範囲に大きな被害が及ぶだろうということでありました。そして、その面積はほぼ東京都くらいになるということも言われました。しかし、その後、ぶつかる可能性はほとんどないということが伝えられました、ちょっと安心したことを覚えています。

今回はぶつかる可能性はほとんどないということでありましたが、過去には天体がぶつかることによる大きな災害が何回も起こっています。特に大きなものとしては、今からおよそ六千六百万年前の例がよく知られています。何と、山ほどもあると言われる大きな天体がぶつかったのであります。これによって地球全体に大きな災害が引き起こされました。そして、多くの生物が絶滅したと言われています。

専門家によりますと、このような規模の天体がぶつかるのは一億年に一度程度ではないかということであります。一方、より小さな天体がぶ

つかることは百年に一度くらいは起こっているだろうということであります。今世紀に入ってから、ロシアにおきまして、隕石が空中で分解するという例がありました。このときは、さまざまな衝撃によって千人以上がけがをしたそうです。

このような事態を正確に予測することは、現状では困難だとされています。それでもなお、被害を少しでも減らせるような研究の進展に期待したいと思えます。

次のお話は、お化け屋敷についてであります。遊園地などによくあるお化け屋敷でありますけれども、学園祭などでもとても人気があります。ネットでお化け屋敷の作り方ということで検索してみますと、たくさんものがヒットします。また、衣装に使うグッズを扱うサイトもずらりと並んでいます。

そんなお化け屋敷について研究した論文を見つけました。

その中で私が面白いなと思ったことがあります。一つは、日本人が不安や恐怖を感じやすいというものであります。論文の作者は、それなのに日本人がお化け屋敷を好むのはなぜだろう

という趣旨のことを述べています。私も同じように感じました。

もう一つは、迷路との相性がいいということでもあります。お化け屋敷を経験した方はお分かりだと思えますが、お化け屋敷の中はほとんどが迷路のような造りになっています。こうすることで多くの仕掛けを見ることができず、また、不気味さを演出することもできます。

迷路については、西洋の庭園が関係しているという記述もありました。西洋式の庭園が日本だとされています。迷路のような構造をしたものもその頃に造られたという記録があります。それをお化け屋敷が取り込んだということかもしれせん。

お化け屋敷は、自分の足で歩くものばかりではありません。カートのようなものに乗って移動する形式のものでありますとか、映画館のように座ったままで楽しむものもあります。

さあ、あなたもお化け屋敷に行ってみませんか。(丁)